

## 「今度又ご一緒させて下さい。」

関根忠雄

一緒にラウンド終了時に相手の方から、そういわれたゴルファーは「理想のゴルファー」です。よく、もうあの人（シングルでも）とは二度と回りたくないと言われる人もいます。又、「私は130以上もたたくので相手の人に迷惑だからラウンドできないわ」という人がいます。しかしちょっと待ってください。ゴルフはプロとアマ、老人と若者、日本人と外国人、とスコアに関係なく出来るスポーツです。ゴルフの能力には二つの能力があります。

① ショット能力

② ラウンド能力

皆さんの言っている130以上のスコアは①のショット能力の話です。しかし、ラウンドする時はショット能力ではなく、ラウンド能力が必要なのです。これが欠けている人はシングルプレーヤーでも、二度と回りたくない人になってしまうのです。

### ◎ ラウンド能力とは何か

ラウンド能力の三つの基本

① 早歩き

② 気配り・目配り

③ 手順・段取り

相手に迷惑をかけるのはラウンド能力の低さのせいです

① 動きの鈍さ→次の球を打つ時にのったりと歩いていく、ショット時でもゆっくりと素振りを繰り返してなかなか打たない

② 気配りのなさ→相手の球を見ていない。他人のショット時に隣の人としゃべっている

③ 段取りの悪さ→自分の番でも、もたもたしてすぐに打たない

つまり、同伴競技者のことなど眼中になく、自分の事だけ考えて行動しているのです。ゴルフは4人で回るので、チームワークが大切なのです。

### ◎ どうしたらよいか

① 早歩き（ハーフラウンド1時間45分以内が目標）

さっさと歩こう！1ラウンドの殆どの時間が歩行時間になる。遅延プレーの最大の原因は遅い歩行です。9ホール約4キロ、1キロを10分で歩くと40分。ショットは1打20秒、ハーフ50とすると、 $4人 \times 50球 \times 20 = 4000秒 = 67分$   
 $40分 + 67分 = 1時間47分$ です。

② 気配り・目配り

人のボールの行方に目を配る。皆で見て覚えておく。ボール探しも皆でする。

1 一番遠くへ飛んだ人がカートを操る

2 グリーンに乗った人はパターを持っていく（他の人のパターも一緒に）バンカーに入ったらサウンドエッジも持っていく

3 グリーンに乗っている人はバンカーならしを持って代わってやる

- 4 グリーン上では一番近い人は旗竿を抜く。パッティングが終った人は旗竿を持つ

③ 手順を間違えない

- 1 バンカーショットをするときはレーキを持って入る
- 2 2・3本クラブを持って次打の地点に走る
- 3 グリーン上では自分の番になってからラインを読まない。すでに読んでおく
- 4 皆順々にアドレスしてプレーする。自分の番が来る時までに距離の計算・クラブ選択を済ませ、至近ポジションに立って待つ

この様にラウンドに出ると、ショット能力はあまり問題ではなく、ラウンド能力の高い人、低い人が問題になる。スコアとは全く関係のないことである。全員が協力してスムーズに回れるように同伴競技者の行動を注意深く見、速やかに行動することが一番大切なのです。

### マナーは大事

- マナーは人の為ならず  
マナー知らずは人に嫌われる。仲間が少なくなり、誘われなくなる。人のプレーを妨げ、人を不愉快にさせるからです
- マナー知らずは楽しめない  
ゴルフは誰もが誰とでも一緒にゲームを楽しめる独自の優しさを持っている。アマとプロ、初級者と上級者、異国人同士と一緒に回っても互いに楽しめる。ただし、そのためにはお互いがマナーをきちんと守ることが大切なのです。
- マナーにはその人の人格が表れる  
打ち方には・・・・・・・・その人の体力が表れる  
ルール上のジャッジメントには・・・・その人の知力が表れる  
マナーには・・・・・・・・その人の人格が表れる

それゆえに、ゴルフでは正義感のあるプレーと、他のプレーヤーやコースを思いやる行いが何にも増して称賛される。

その称賛は優れたショットに寄せられるどんなものよりもはるかに輝かしいものであります。

### ゴルフでは

一にマナー

二にゴルフコンペの心構え (マナー、エチケット、ルール etc.)

三・四がショット

五がスコア

一～五までが揃っているゴルファーは稀にしかいない。一、二の方が豊かな人なら付き合い合えるが、一、二が粗末だと、三、四、五がどんなに立派でも付き合いにくいのがゴルフというゲームです。

アマチュアは「一」寄りでありたいですね。